

カーペットに付着したチューイングガムは除去する事が困難です。  
早急な対処が必要な理由は、ガムの粘着性が新たな汚れの付着を生み、  
また、乾燥・硬化することにより繊維の磨耗を早めるためです。

## 用意する道具と洗剤等

- ガム取り剤(溶剤)
- シミ取り剤
- エキストラクター等
- ブラシ
- へら等
- タオル(乾湿数枚)

## 除去作業手順

### ① 現況確認



一概にガムの汚れでも、踏み固められた状態の対象物がどれ位の時間が経過しているか見極める作業が第一歩となります。

### ② ガム取り&カケラ分離



経過時間の過ぎた重度の汚れの場合、溶剤系のガム専用剤を塗布して、繊維を傷めないようにガムを凡そ除去します。

### ③ ガム取り剤除去-リンス



エキストラクターを使いガム取り剤をリンスします。無い場合は濡れタオルで代用しても結構です。②~③を繰り返します。

### ④ シミ取り&タンピング



ガム本体を除去した後に輪染み状に残る汚れはシミ取り剤を使います。塗布後は、擦らずブラシ等で叩いて下さい。

### ⑤ シミ取り剤除去-リンス



③と同様、シミ取り剤をエキストラクター等で充分リンスして下さい。シミの跡が除去するまで④~⑤を繰り返します。

### ⑥ 仕上げ~完了



汚れや水分は、擦りらず乾いたタオルに写し取る様にして下さい。乾燥が不十分の場合には、再汚染になり得ます。

## ポイント

ガム専用剤の塗布後は、『ガムゲッター』を使うと确实・安心に除去できます。  
※今回の写真では『ガムゲッター』は使用していません。